

評価計画・評価から評定への総括方法

単元ごとに並んだ評価の総括の仕方を保護者にも説明できるように学校全体で共通理解した上で、基準を統一する。

○各観点について、3段階で評価する。また、評定についても、3段階で評価する。

○通知表については、「よくできる」、「できる」、「もうすこし」で表記する。

※前期通知表配布時に、リーフレット「通知表の見方」を作成し、配布する。

○総括の仕方…A、B、Cを数値化して、分割点を決める。

<数値化> **A=3点、B=2点、C=1点**

<分割点> **A: 2.5より上 B: 1.8以上2.5以下 C: 1.8未満**

6年算数の例

指導した単元	知・技	思・判・表	主体的に学習に取り組む態度
対称な図形	A (3)	B (2)	A (3)
文字と式	B (2)	C (1)	B (2)
分数のかけ算	A (3)	B (2)	B (2)
分数のわり算	A (3)	C (1)	A (3)
分数の倍	A (3)	C (1)	C (1)
比	B (2)	C (1)	B (2)
観点別合計値*	16	8	13
観点別の平均	2.7	1.3	2.2
総括	A	C	B

() 内数字：観点別点数、小数第2位四捨五入

<留意点>

- ・単元終了後のテストやミニテストの評価は、A90点以上（低・中・高学年）、B60点以上、C60点未満を目安とする。
- ・補習や家庭での学習を通して単元終了後に技能や知識を身に付けた場合は評価を見直すなど、より適切な評価ができるようにする。
- ・長時間の学習単元や特に重要視したい単元は、学年で共通理解の上、2倍の点数を算出して合計値を出し、平均を求めるなどしてもよい。
- ・要録は、年間を通して、同様に計算する。評定は、平均値が、2.5より上を3、1.5未満を1とする。

(例) 単元 ① ② ③ ④ (数値化) (平均値) (学期総括評価)
 評価 **A**・B・B・A → 3+2+2+3 → 10点÷4=2.5点 → **B**
 ↓
 重要視単元 → 3×2+2+2+3 → 13点÷5=2.6点 → **A**